

平成21年度 一般会計予算討論

討論は3月16日、各常任委員長からの委員会における審査の経過及び結果についての報告の後、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明したものです。

※討論者が要約しました。

反対討論

日本共産党吉川市議員団

小林 昭子

日本共産党市議団は、毎年「市民アンケート」を行い予算要望書を提出しています。

市民バス、子ども医療費、国保税軽減、都市計画税中止、障害者や高齢者福祉の充実を求める声は未曾有の経済不況の中大変重く、市の予算編成がどう応える内容になっているか厳しく問われています。

学校施設整備事業（北谷小、三輪野江小、南中）の実施は市議団として一貫して求めてきたものであり、北谷小での学習障害児通級教室設置、屋外プールの大規模改修工事の実施等評価されます。

福祉関係では、子ども医療費無料化の中学卒まで（入院費）の拡大は、議員団の重点要望であり評価し、引き続き無料化拡大を求めます。第二フレンドパーク（障害者センター）開設事業、妊婦健診5回を14回への増などが評価されます。

しかし保育園、学童保育問題は先送りされており問題で

す。また、教育部門での臨時職員化、委託化、おあしすや図書館の民営化等は吉川市全体の教育基盤を弱めるものであり反対です。歳入での問題は都市計画税導入です。納税義務者一人当たり2万9千415円、総額4億3千万円の新たな負担と個人市民税の増です。

昨年秋季以降の経済不況を鑑み、課税の二～三年延期や、税率の暫定引き下げ等を検討すべきです。

最後に、路線バス運行は、高齢者等の交通手段です。交通対策協議会での検討など、早急な対応をすべきです。

賛成討論

公明党吉川市議員団

五十嵐恵千子

都市計画税の導入1年目の平成21年度一般会計当初予算は、155億8千700万円です。前年比7・4%増と5年ぶりの増額になりました。財源状況が厳しい中、一層の事業の選択と集中を進め、必要な事業実現に努められた予算編成であることが伺えます。

特に注目すべき点として、

①配偶者暴力相談支援センターの設置は、誰もが自分らしく生きる権利が尊重される社会の実現に資するものである。

②安心して子どもを産み育てることができる環境を整える、次世代育成支援対策地域行動計画（後期）の策定。

③妊婦健診の公費負担をこれまでの5回から14回へ拡充。

④子ども入院医療費の給付を中学3年生まで拡充。

⑤活力ある地域経済を取り戻すために、認定農業者支援対策事業費補助金の拡充や緊急不況対策事業費補助金を創設し、ラップピーカードシステムを活用した支援と中小企業資

金融資利子助成金拡充の実施。

⑥食育推進計画の策定。

そのほか、学校施設の耐震診断や北谷小での通級指導教室実施、屋外プールの改修工事実施、生活道路の整備など、将来を見据え、きめ細かく市民サービスの向上に努めた取り組みと認識しております。

この厳しい財政状況を単にマイナスと捉えるのではなく、マイナスイメージではなく、6万余の市民の皆様の負託に応えるべく、不断の努力と創意工夫により、全市民が「住

賛成討論

市民改革クラブ

稲垣 茂行

平成21年度予算編成で評価すべき点は、①北谷小・南中学校校舎耐震補強と大規模改修工事に続き、三輪野江小学校の耐震診断と補強・大規模改修設計及び三輪野江小・南中体育館の耐震診断の実施。

②食育推進計画の策定。吉川産米の米粉パン給食の導入。

③行政のスリム化、サービス向上の視点から、「指定管理者制度」の本格的活用へ踏み出した点。

④入院にかかる乳幼児医療費支給の中学卒業までの拡大と妊婦健診の公費負担の拡充（5回→14回）。配偶者

暴力支援センターの設置。⑤中央土地第一調整池暫定稼働による浸水被害の軽減。新栄地区道路整備等であります。

多くは、これまで市民改革クラブとして強く要望、提案してきた事業でもあります。

今後の改善を期待したい点は、①都市計画税の見直し。